



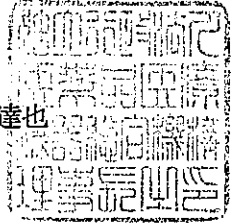
薬機発第 0320047 号

平成 31 年 3 月 20 日

平成 30 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金

研究者 櫻井 信豪 殿

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構理事長 近藤達也



平成 30 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金研究者の
利益相反の審査結果について

報告いただいた利益相反管理のための自己申告書の内容について、平成 31 年 2 月 20 日に開催されたレギュラトリーサイエンス研究評価委員会において審査を行った結果を、下記のとおりお知らせいたします。

(事業名) 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業
(課題名) GMP, QMS 及び GCTP のガイドラインの国際整合化に関する研究

記

提出された自己申告書に記載された内容又は平成 30 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金の研究課題に関して、レギュラトリーサイエンス研究評価委員会から改善に向けた特段の措置等の意見は示されませんでした。

ただし、利益相反管理における一般的事項として、下記の点について、留意願います。

- 1) 研究が企業や団体の意向によってその公正性・信頼性を損なうことなく進められていることが適切に説明できること。
- 2) 研究の研究成果がどのように取りまとめられるのか、そのプロセスについて適切に説明できること。
- 3) 産学官連携活動による研究成果がどのような形で資金提供側に提供されるのか契約上明確になっているとともに、産学官連携活動として実施される官民共同研究以外の厚生労働行政推進調査事業とは明確に区別して研究が進められていることが適切に説明できること。

事務局：研究支援・推進部 企画調整課